記載・作成例(架空事例)

〇〇地域における老々世帯の主介護者が要介護になった事例への支援から捉える地域課題

専Ⅱ-2-358 工藤　英明

1. はじめに

老々世帯の主介護者が要介護状態になった事例の支援を振り返り、老々世帯が抱える在宅生活継続の脆弱性などの課題が気になった。たとえ状態像が一緒であっても、家族や経済など様々な環境要因により、生活ニーズは異なる。そこで(本レポートでは)、〇〇市における老々世帯の状況から、老々世帯支援に関する地域課題とその解決方法を検討することを目的とする(試みる)。

コメントの追加 [工藤1]: 端的に、これから何を目的に、何を書くのか?

2. 本事例の状況

A さん 75 歳男性、脳梗塞後遺症左まひ、要介護 1、A2-自立、家事以外の自宅内のことは時間がかかっても概ねできる。サービスはデイケア 2／w。家族は妻と二人暮らし。子供はいない。県内に親せきはいない。食事に関しては妻の作ったものしか食べない。〇年〇月妻が倒れ入院、当面の A さんの食事支援を訪問介護、ショートステイ、有料などの施設入所を検討するも、本人は状況を理解しつつも当初はすべて拒否。時間を要したが、〇か月後施設入所に至る。妻は寝たきりとなり別の施設に入所となる。

コメントの追加 [工藤2]: 簡単に要約。

3. 〇〇市の老々世帯の実態

〇〇市は人口△万人、一次産業を中心とした地域であり、高齢化率 45%である。〇〇市第８期介護保険事業計画によると老々世帯数は、全世帯数〇〇世帯のうち老々世帯は〇〇世帯〇%を占めている。一方、要介護認定率は△%であり、推計すると高齢者世帯のうち□%に要介護高齢者がいると考えられる。つまり、高齢者世帯のうち××世帯では、ひとりが要介護高齢者と捉えることができる。隣の**市の事業計画から同様に推計すると▼▼世帯、国の高齢社会白書のデータと照らし合わせても多く、〇〇市の特徴的な地域課題といえる。要介護高齢者を抱える高齢者世帯では、当然ながら主介護者も高齢者であり、主介護者が疾病または要介護に至る可能性は高く、多くの場合、その時点で在宅生活の継続は困難となる(〇〇. 2020)。現在、介護老人福祉施設の入居要件は原則要介護 3 以上である。要介護 1 で入所できる施設も限られるため、〇〇市の施設状況を WAM ネットと県の有料老人ホーム一覧で調べてみたところ、在宅で暮らしていると予想される要介護２以下の人数〇〇人に対して、有料老人ホームは〇〇床であった。

コメントの追加 [工藤3]:　地域課題と思われる事象を客観的にとらえられるよう、何らかの資料で地域実態を調べ、その内容を整理し、「地域課題」を言及する。地域課題言及に関しては、文献・資料の裏付けが望ましい。2.で取り上げた事例から、何を読み取り、同様の事例または課題が地域でどの程度存在するのか。調べることが必要。

〈別の裏付け例〉例えば、地域のケアマネ連絡会で、全ケアマネ 30 名のうち、８割のケアマネが老々世帯を担当し、主介護者が倒れ、在宅支援継続困難になった事例が、10 事例あった。なども考えられる。この場合、地域課題といえるほど共通している課題なのかまでは言及しきれないので、考察で限界点とそれを今後裏付けていくための方策を示すことになる。

4. 考察

本レポートでは、老々世帯の主介護者が倒れた事例への支援を通して、〇〇地域に類似事例がどの程度存在し、それを支える資源はどのような状況なのかを調べた。老々世帯は高齢者の一人暮らし同様、在宅生活継続の基盤は弱いと考えられる。調べた結果から、〇〇市は、他の地域よりも老々世帯が多い傾向にあるため、高齢者双方が要介護になっても在宅で支えていくためのサービスを検討していく必要があるのはないかと考えた。なぜならば、ケアマネジメント(居宅介護支援)の目的そのものが、在宅生活の支援を支えるサービスとして

コメントの追加 [工藤4]: 結局、普遍化、一般化されたと考えられる地域課題は何か、その理由とそれを解決しなければ、どんな状況になるのか、そのためには何をしなければならないのか、今回調べまとめた結果に対して、残された課題は何か。

記載・作成例(架空事例)

位置付けられている。在宅生活を支えるケアマネジメントを地域で実践するためには、社会資源も同時に整備していく必要があるからである。さらに、介護老人福祉施設の入所は、原則要介護３以上となった。要介護１の高齢者は、在宅生活を支えなければならない存在であるが、様々な事情によっては、現実的には施設入所を検討せざるを得ない。このような視点からは、地域での在宅支援の限界点が、要介護２以下の場合には、どのような状況が影響するのか、それを支えられない原因は何かなども併せて検討する必要がある。

今回のレポートでは、老々世帯支援に有効なサービスの情報、必要なケアマネジメントの視点及び地域の支援体制までは調べることができなかった。この点は、今後の課題と位置付けたい。今後、老々世帯の支援をテーマに地域ケア会議などで調べたデータを示し、老々世帯の抱えるより具体的な地域課題解決に向けた検討をし、地域の課題解決に寄与したい。

(1540 字)

コメントの追加 [工藤5]: 文字数を確認し示す。

5. 資料

・〇〇市第８期介護保険事業計画. 〇〇〇〇.
・〇〇市介護予防。日常生活圏域ニーズ調査報告書. △△△△.
・**市第８期介護保険事業計画. 〇〇〇〇.
・内閣府「高齢者白書」〇〇〇〇.
・〇〇委員会編「介護支援専門員基本テキスト」第１巻. 長寿社会振興センター. 2021.
・WAM ネット. http://www.AAAAAAA.BBBBBB.CCCCCCC.(2021.8.20 閲覧)
・××県 HP. http://www.AAAAAAA.BBBBBB.CCCCCCC.(2021.8.20 閲覧)

コメントの追加 [工藤6]: 調べたものを示す。
資料は、出所「題名」年.
本は、著者「題名」出版社.年.
ネット資料は、公的機関に限り、出所「題名」URL.閲覧日.